



きっと明日は いい天気

校長 村岡 靖

先日、2年生とズーラシアに遠足に行ってきました。コロナ禍で2年生は入学してから初めての遠足です。子どもたちはとても楽しみにしていた事でしょう。しかし、当日の朝は冷たい雨がしとしと降っていました。ズーラシアへ向かう途中、一人の子が小さい声で歌い始めました。「庭のシャベルが 一日ぬれて、雨が上がって くしゃみを一つ」すると隣の子がその声に合わせて小さく歌いました。「雲が流れて 光がさして、見上げてみれば」周りの6, 7人の子もつられてきれいな声で歌います。「ららら、虹が 虹が 空にかかって 君の 君の 気分も晴れて きっと明日はいい天気 きっと明日はいい天気」 「虹」という歌です。「初めての遠足、晴れてほしい。」という思いで歌ったのでしょうか。ズーラシアについた時には、まだ厚い雲におおわれていましたが、雨はすっかり上がっていました。

ズーラシアでは動物を見るたびに、子どもたちは素直に歓声を上げていました。「校長先生、私はレッサーパンダが見たいの。」レッサーパンダはこちらに背を向けて寝ていましたが、その子は「かわいかったあ。」と喜んでいました。

少しだけお腹が痛くなった子と一緒にゆっくり歩いていた時の事です。グループのみんなに追いつくと、みんなは「〇〇ちゃん、大丈夫？」優しく声をかけました。男子も女子もです。こちらまであたたかい気持ちになりました。いい子たちです。

学校に戻って、みんなに言いました。「空を見上げてごらん。」虹は出ていませんでしたが、雲一つない青空でした。初めての遠足、雨が上がってよかったね。子どもたちはみんな疲れていたようでしたが、とても満足そうな表情でした。

コロナ禍になり、学校の遠足などの行事はストップしていました。本校では今年度全校での運動会を実施したり、宿泊や遠足を行ったり、できることから行っています。学校はもちろん教室での学習も大切ですが、このような行事も子どもたちの健全育成のために必要なのだと、コロナ禍になって改めて感じています。

11月24日に第1回学校運営協議会を開催しました。「学校運営協議会」とは学校が地域、保護者、有識者などの皆様と目標を共有し、一緒に協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支える仕組みです。本校では今年度、会を立ち上げました。

校長からは今年度の学校運営方針を説明し、委員の皆様からは次のようなご意見をいただきました。「地域と学校の懸け橋になれば。」「子どもたちに地域の事をもっと知ってほしい。」「風水害の避難所でもある新田小学校で、防災教育の意識も高めてほしい。」第2回は来年2月を予定しています。ありがとうございました。